

RMC 使用方法DPF、DPR、DPD(インジェクターノズルのカーボン等含)

(2トン車) 《4トン車》 【10トン車】

北海精機株式会社

① 十分な暖機運転後、なるべくエンジンに近い吸気管の入口ホース又はターボ付の場合  
ブローバイホースを取外します(エアコンを切にして下さい。エンジンオイルが入っている事を確認)

② エンジン回転数を1500rpm程度に上げ、RMC-3Eを吸気口からゆっくりと噴霧します。

1回の使用量 (2t車:150ml) 《4t車:300ml》 【10t車:500ml】

時々空ふかし(レーシング)をします。特にインタークーラーがある場合必要です。

③ 投入後、ホース等を取付けして2速で1500~2000回転にて走行します(3~5km以上)

④ ②③を繰り返し施工します。

(2t車:150ml×4回) 《4t車:300ml×4回》 【10t車:500ml×4回】

3回程施行後、加速が良くなったりエンジン音が静かになるなど状態は良くなりますが  
必ず5回は施行して下さい。その後エンジン停止しないで走行するか又はアイドリングを  
30分以上行いカーボン、カルシウム及びアッシュ等を放出させます。

⑤ 翌日、②~③を5回施行

⑥ 翌々日②~③を5回施行

★合計使用量 (2t車:2.25ℓ) 《4t車:4.5ℓ》 【10t車:7.5ℓ】

(インジェクターのみの場合は各使用量の約1/2の量)

※ カーボン等が取れDPF,DPR,DPDに入り一時的に強制燃焼する事もあります。

※ 差圧パイプの詰まりの有無を必ず確認の事。詰まりの場合掃除又は新替をして下さい。

※ 一回の注入量を多くするより回数を多くしたほうが剥離性や除去率が高くなります。

※ スキャンツールによるRMC使用前、使用後の測定をお勧めします。